

古典の日に関する取組状況

9/5（水）に公布・施行された「古典の日に関する法律」において、①11月1日を古典の日とすること、②国は古典の日にふさわしい行事や国民が古典に親しむための施策の実施に努めること等が規定された。

これを受け、国及び地方公共団体において、国民が古典に親しむため、古典の日になんだ行事等を開催した。

1. 国の取組

- (1) 地方公共団体や関係機関等に対し、国民が古典に親しむための施策の実施に努めること等を要請する施行通知の発出や周知ポスターの配布を実施。
- (2) 11月1日に、文化庁や独立行政法人において、古典の日になんだ行事を実施。

【主な例】

- 古典の日記念シンポジウム（文化庁）
小林千寿氏（囲碁棋士）、河村晴久氏（能楽師）、柳家さん喬氏（落語家）による実演及び講演、東京藝術大学熊倉教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションを実施し、古典の魅力を発信。
来場者数は、一般申込者、文部科学省・文化庁職員の職員を含む248名。
- 古典の日記念企画公演（国立能楽堂）
「近江八景を訪ねて」として、小舞、平家琵琶、能を実演。
- 平成24年度「古典の日」講演会（国文学研究資料館）
①「京伝と馬琴－悪女の描き方－」、②「『源氏物語』の場面について」について講演。

2. 大学・地方公共団体の取組

主な古典の日関連施策の例は以下のとおり。

- 「第一回文化財保存学日本研究発表展 美しさの新機軸 一日本画 過去から未来へ」を開催（東京藝術大学）
- 古典の日の推進をテーマに記念講演や記念実演などを京都府および東京都で実施（古典の日推進委員会）
- 明治・対象・昭和の日本児童文学史になんだ作品を解説を交えながら朗読（広島県立図書館）
- 源氏物語、枕草子、平家物語などの古典を企画展示（香川県立図書館）
- 源氏物語の関連資料を紹介（埼玉県立久喜図書館）
- 福井にゆかりの深い古典作品を紹介（福井県立図書館）
- 芦屋と関わりのある古典文学、日本美術、伝統芸能を紹介する講演会を実施（芦屋市民センター）
- 古典の日公開録音コンサートを実施（一般社団法人全日本ピアノ指導者協会）

●●● 実演とトークショーで
芸術の秋を満喫しよう！

古典の日 フェスタ

無料

11月1日[木] 18:30-20:50

@文化庁 旧文部省庁舎6階講堂

司会

桂歌春氏 (落語家)

コーディネーター

熊倉純子氏 (東京藝術大学教授)

出演者

河村晴久氏 (能楽師)

小林千寿氏 (囲碁棋士)

柳家さん喬氏 (落語家)

今年9月、「古典の日に関する法律」が制定され、家庭、学校、職場、地域などで皆様が古典に親しんでいただけるよう、古典の日を11月1日にすることが定められました。

「古典」は、文学だけでなく、音楽、美術、演劇、伝統芸能、演芸、茶道や華道といった生活文化などを対象としています。

文化庁でも、古典の日を記念してイベントを開催します。ぜひ古典の魅力に触れてください。

詳しくは、http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/torikumi/koten/index.html

観覧募集中！

お問い合わせは **03-5253-4111**

文化庁政策課文化広報係まで



古典の日記念シンポジウム(古典の日フェスタ)集計結果

◆概要

日時:平成24年11月1日(木)18時30分～20時50分

場所:第2講堂(旧文部省庁舎6階)

主催:文化庁

出演者:河村晴久氏(能楽師)、小林千寿氏(囲碁棋士)、柳家さん喬氏(落語家)

コーディネーター:熊倉純子氏(東京藝術大学教授)

◆来場者数

		(構成比)
一般申込者	76名	(30.6%)
文科省・文化庁(職員)	86名	(34.7%)
他省庁職員	25名	(10.1%)
出演者関係者	54名	(21.8%)
報道関係者	7名	(2.8%)
(合計)	248名	(100.0%)

(参考)申込者数

一般申込者	91名
文科省・文化庁(幹部)	107名
他省庁職員	34名
出演者関係者	63名
報道関係者	5名
(合計)	300名

◆アンケート

※回収:135名(当日133名、後日郵送2名)、回収率:54.4%

1.シンポジウムを知ったきっかけをご教示ください。

		(構成比)
チラシ・ポスター	13名	(9.3%)
文化庁ホームページ	17名	(12.1%)
文部科学省facebook	5名	(3.6%)
文部科学省ツイッター	2名	(1.4%)
新聞等メディア	0名	(0.0%)
友人・知人など	45名	(32.1%)
省内の案内メール	13名	(9.3%)
その他	45名	(32.1%)
(合計:複数回答あり)	140名	(100.0%)

[自由記述]

※チラシ・ポスター(ご覧になった場所)

新国立劇場(1名)、放送大学(1名)、文化庁(1名)、ローソン(1名)、省内(1名)

2.シンポジウムをご覧になっていかがでしたか。

		(構成比)
非常に満足	68名	(50.4%)
満足	51名	(37.8%)
普通	5名	(3.7%)
不満	1名	(0.7%)
非常に不満	0名	(0.0%)
回答なし	10名	(7.4%)
(合計)	135名	(100.0%)

[自由記述](例)

- ・異色の取り合わせで興味深かった。
- ・初めて落語を聞きましたが、圧倒されました！
- ・各分野の第一人者の話を直接聞くことができた。
- ・実演もあって本当に興味深かった。
- ・古典について理解を深めることができた。各実演が素晴らしかった。
- ・碁を打ちたくなりました。
- ・みなさん、芸は無論、お話が上手。能も楽しみ方を教えてもらった。
- ・囲碁・能楽の歴史、竹取物語の中の小噺があることなど興味深くききました。また、さん喬師匠の落語もすばらしかったです。
- ・特に能楽の実演には感動しました。図らずも12月1日に国立能楽堂で「清経」を鑑賞する予定です。一層楽しみにになりました。「井戸の茶碗」は泣けました。お陰様で最高の夜です。心から感謝申し上げます。
- ・初めて生で落語を聞いたが、こんなに愉快なものとは思わなかった。江戸の庶民の生活もよくわかり面白い。
- ・久しぶりに古典に接する機会を与えて下さり、有難うございました。

3.属性

(構成比)		
男	56名	(41.5%)
女	68名	(50.4%)
回答なし	11名	(8.1%)
(合計)	135名	(100.0%)

(構成比)		
10代	1名	(0.7%)
20代	15名	(11.1%)
30代	35名	(25.9%)
40代	24名	(17.8%)
50代	28名	(20.7%)
60代	12名	(8.9%)
70代以上	10名	(7.4%)
回答なし	10名	(7.4%)
(合計)	135名	(100.0%)